

公園や周辺で見られる生物などを紹介します

ヒシ

八色の森公園の自遊池の水  
面を覆うように広がっている  
植物が「ヒシ」です。「ひし形」  
はこの葉の形に由来します。

ヒシの根は水底にあり、そ  
こから長い茎が出て水面に  
浮葉ふようといわれる葉を広げま  
す。水中の茎から出ているも  
のは根のように見えますが、  
葉が変形したものです。夏ご



ろに水面で広がった葉の間に  
白い花を咲かせます。ヒシが  
繁茂すると池の環境を悪化さ  
せるため、適度に間引くこと  
が必要です。

ヒシの実には2つの大きな  
トゲがあり、水で運ばれると  
きにいかりのような役割をす  
ると思われます。忍者が追手  
の足を止めるためにまいたと  
いわれるマキビシは、四方に  
トゲを持つオニビシなどの実  
を乾燥させたものです。(ヒ  
シの実では横になってしまっ  
るので足に刺さりません)

また、ヒシの実は食用にな  
り、最近では各地でヒシを食べ  
るイベントなどが企画される  
ようになりました。八色の森  
でも実施してみたいもので  
す。

ヒシの実



News Plaza みなみうおぬまニュースプラザ

6月7日(月)

栃窪ちよまの苧麻畑で焼畑とネット張りを行いました

栃窪小学校の児童が越後上布技術保存協会の指導のもと、苧麻畑の焼畑とネット張りを行いました。

この苧麻畑は、越後上布の原料となる苧麻のこを知るために試験的に栽培している畑です。焼畑は、苧麻の品質を均一にしたり、害虫の駆除や燃えた灰を肥料にすることなどを目的に行っています。

始めに草を刈り、カヤを敷いて火をつけます。カヤが燃えた後は水で火を消します。その後、肥料をまいてネットを張ります。暑い中、児童たちは保存協会のみなさんと手際よく作業をしていました。



6月19日(土)

第37回新潟県消防救助技術大会が開催されました

新潟市消防局で第37回新潟県消防救助技術大会が開催され、南魚沼市消防本部は、はしご登はん、ロープ応用登はん、ほふく救出、引揚救助の4種目に出場しました。

当日は雨が降る中での開催となりましたが、ロープ応用登はんチームが見事優勝し、全国大会への出場を決めました。(残念ながら全国大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりました)

